

# 令和7年産かんしょの作付面積及び収穫量

令和7年産かんしょの作付面積及び収穫量は、  
前年産に比べいずれも2%減少

## 【調査結果の概要】

### 1 作付面積

作付面積は3万1,300haで、前年産に比べ500ha（2%）減少した。

### 2 10a当たり収量

10a当たり収量は2,230kgで、前年産を20kg（1%）下回った。

なお、10a当たり平均収量対比は104%となった。

### 3 収穫量

収穫量は69万9,400tで、前年産に比べ1万7,600t（2%）減少した。

図1 かんしょの作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移（全国）

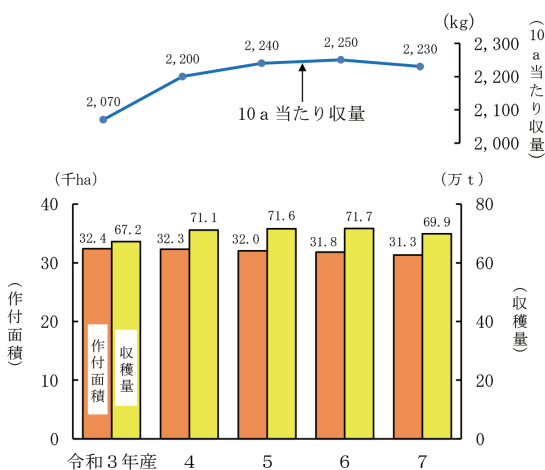
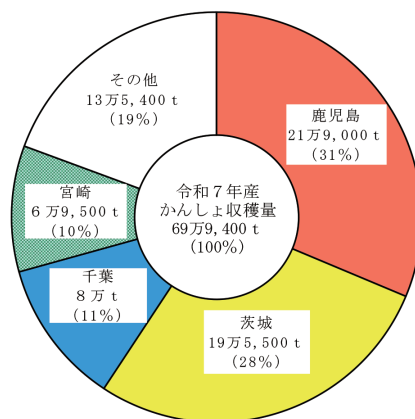


図2 令和7年産かんしょの都道府県別収穫量及び割合（全国）



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

○ 10a 当たり平均収量は、前年産を起点とした過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値である。

※令和8年2月3日に農林水産省大臣官房統計部から発表された資料から抜粋・編集している。詳細は、同省のホームページ「統計情報の」以下のURLに掲載されている。

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kome/pdf/syukaku\\_kansyo\\_25.pdf](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/pdf/syukaku_kansyo_25.pdf)